

	努力目標	評価項目	数値目標等	具体的方策	評価	反省・今後の改善点	具体的方策
総務部	学校の実態に即した目標を設定し、教育目標を具現化する。	○教育目標の明確化とその実践	○各学期の確認と共通理解を図る。	○生徒の実態を踏まえ、努力目標を明確にする。	B	○学校説明会で教育方針を提示し、保護者に理解を求めていきたい。 ○グラウンドデザインをもとに、共通実践・共通指導を行う。 ○コロナ禍の影響等で後援会総会等を校内放送に切り替えた。	○保護者と情報交換を密にして、連携を密にする。
	学習指導要領の趣旨を生かした特色ある教育課程を編成する。	○創意工夫を生かした教育課程の実施	○学習指導要領による教育課程の確認と見直しをする。	○個々の生徒の特性に適した特色ある教育課程を編成する。	A	○教育課程の年次毎実施から来年度は完全実施になり、実態に即した内容の編成に心掛けていきたい。	○学科・コースの特性を生かした教科・科目の内容を検討したい。
	生徒の実態に即した効果的な行事を行い、活動内容を工夫する。	○学校行事の改善・充実	○毎月の運営委員会で見直しを検討する。 ○職員会議での議題に取り上げる。	○生徒の実態に合わせた、活動内容を工夫・実施する。	B	○学校行事に対しては、生徒・保護者・職員ともに評価が高い。「学科の感謝の集い」等を含め、今後も充実を図りたい。 ○保護者等も参加し、体育祭も文化祭も完全実施できた。	○会議をとおして連携を図り、効率的な運営の実施に務めたい。
教務部	的確な生徒の実態把握と、理解度に配慮した学習指導の実践に努める。	○生徒の理解度に配慮し、楽しく分かる授業の実践と授業評価の実施	○「わかる授業」の教科目標について、5段階評価で4以上の評価を達成する。	○授業評価アンケートを年2回実施し、結果に基づいて「授業改革シート」を作成し、授業改善に努めている。	B	○教師の授業評価共通項目での全体評価は4以上ではあるが、全ての評価が5になるように、生徒が分かる・楽しい授業の実践に努めたい。	○学習目標の明確化と授業の展開を工夫し、今後も「わかる・楽しい授業」に努める。また、教職員の研究授業を定期的に行い、教師相互の学習指導技術の向上を図る。
	学習環境を整備し、主体的に学ぶ力の育成に努める。	○各種資格・検定取得の奨励と補習指導の充実及び補習時間の確保並びに模擬試験の実施	○各種資格取得試験の合格率80%以上を目指す。	○各科における資格取得年間計画の作成及び、日々のサポートや放課後の補習等を実施する。 ○定期的に資格取得委員会を実施し、補習の内容等について適切な指導方法や実施時期を随時検討する。	B	○各種資格取得試験の受験者には、補習への積極的参加を促し指導方法の改善等を行っていく。 ○生徒たちの意欲的な取り組みもあり、多くの合格者を出すことができた。今後も、対策を講じ100%合格を目指す。 ○転退学者30人未満を達成できなかった。	○検定結果を報告させ、指導・助言にあたる。また、補習内容の充実を努める。 ○資格取得委員会を定期的に実施することで、現状の把握に努め資格取得の合格率向上に対する共通理解を図る。 ○トコトン面倒をみることで達成に努める。
生徒指導部	充実した高校生活を送り、生涯忘れない感動を共有させる。 高校生活を充実させ、生涯忘れぬ感動を享受させる。	○諸行事に対する意欲的な取り組みと、協調性が身についたか。	○学校行事等への参加意識を高め、欠席者0を目指す。	○教職員は、行事に参加している生徒全体の様子を観察し、事前・事後指導を的確に行う。 ○各行事遂行にあたって、その目的意識を身につけさせるように、積極的に取り組ませる。	B	○今年度は、多くの行事を工夫し実施できた。 ○生徒会を中心にして行事に取り組む姿が見られ、大きな事故もなく成功に結びつけられた。 ○野球部・サッカー部でのプロ選手誕生とともに各種大会で優勝など活躍した。	○生徒会を中心に計画的に準備し、一つでも新しいものを取り入れる。 ○危機意識を常に持ちながら生徒の安全管理に努める。
	突発的な問題行動や自己に対し、臨機応変に対応できる指導体制を構築する。	○関係機関との連携を保ちつつ、生徒の安全を確保する。	○問題行動0を目指し、担任・学科と連携を図る。	○「道義」の徹底を図り、本校生としての自覚と誇りを持たせる。 ○防災訓練等への真剣な取り組みを促すと共に、事前・事後指導の徹底を図る。 ○職員の協力体制を構築するとともに、カウンセリングの有効活用を図る。	B	○あたり前のことをあたり前に出来る生徒の育成に努力し、「道義に徹し」目的・危機意識を持たせる指導に努めていく。 ○問題行動が例年より多かった。	○ルール、マナー、モラルを遵守させ、本校生徒としての自覚と誇りを持たせるよう指導を行うとともに、様々な災害に対して、判断力、行動力を養わせる。 ○校外で実施されるボランティア活動の案内に努める。

進路指導部	生徒自らが将来に対する目的意識を持ち、進路を選択・決定して自己実現を図ることができるようにする。	○学年別合同進路指導やホームルーム活動の活用	○進路決定率100%を目指す。	○進路選択の指導助言の充実 ○進路ガイダンスの充実 ○就業体験学習の実施(各学科・コース) ○外部講師による面接指導の実施 ○校外ボランティア活動が評価対象になっていることへの周知徹底	B	○校外でのガイダンスの積極的参加 ○本人の適性や能力、興味、関心にあった進路指導に努めたい。 ○就職・進学100%達成と県内外就職者の増を図る。 ○合格不定後の辞退がないように取り組む。	○大学入試改革に伴いキャリアパスポートを生かした進路指導に努める。 ○リモートによる企業説明会の受け入れ ○進路指導室の利用促進に努める。 ○各種検査等を活用しながら、生徒の適性にあった進路指導に努める。
	自主的な学習態度の育成を図り、学力向上に努める。	○就職模擬試験、英語・数学小テストの積極的な取り組み	○就職模擬試験、英語・数学小テストの平均点アップを図る。	○年間計画に基づいた計画的な学習を促す。 ○過去の受験反省記録の活用を図る。 ○指定校推薦等でも学力試験が導入されることの周知徹底(大学入試)	B	○英語・数学の小テストや就職模擬試験を通して、基礎学力の向上を図る。 ○各学年で実施する検査や試験の結果を有効活用し、生徒自身の学力の的確な把握に努める。	○基礎学力の向上を目指すため、教科担当との連携を図り、就職模擬試験や各小テストの事前・事後の指導に努める。 ○各種検査等の結果を語らいの週間等で生かした面談に努める。
中高連絡部	各部・各学科の連携を強化し、全職員による生徒募集体制を確立して生徒減少期における生徒募集に努める。	○入学者の定員確保	○各学科定員の100%確保	○教育内容の充実と向上 ○中学校・義務教育学校との連携強化	A	○募集に対する共通理解を図り、全職員で危機意識を持って募集活動を展開していく。 ○各部・各学科で連携を図り、募集活動を展開していく。 ○定員確保32年連続 ○定員の1割を超えないよう取り組む。	○特色ある各学科の行事を生徒募集の一環として全職員が捉え、マスメディアやホームページ、Instagram等を活用して広くアピールしていく。
	本校の特色ある教育内容及び教育活動をアピールし、本校の教育に対する理解と信頼の浸透を図り、生徒確保に努める。	○一日体験入学参加者の確保 ○視察受け入れの確保	○一日体験入学参加者 1500名の確保 ○視察団体20以上の確保を目指す。	○魅力ある体験入学の実施 ○DVD等を活用し、視察内容の充実を図る。	A	○学校説明会や学校視察を通して、学校についての理解を深めていただく。 ○充実した一日体験入学や学校視察を実施する。	○参加者に対してアンケートを実施し、体験内容の満足度等を把握するとともに、内容の継続・見直しを検討する。 ○より魅力ある視察内容となるよう各学科・コースとの連携を強化し、アピールしていく。
広報企画室	○各学科・コース、部活動との連携を密に図り、本校の特色を理解し、広くPRする情報発信に努める。	○入学者の定員確保と入学生徒の入学理由の調査及び広報活動の検証	○各学科定員の100%確保	○広報企画室職員間の連携強化と効果的広報活動についての検討会の実施	A	○本校の特色を効果的にPRするため、各学科・コース、部活動との連携強化を図り制作物の充実に繋げる。 ○本校のブランド定着を図り、県内私学における存在を確立させる。	○学科との定期的な制作会議の実践 ○入学生徒へのアンケート調査と結果に対する広報企画の見直し ○デザインの統一イメージの定着と拡大のための情報発信
	○各学科・コースの定員確保に向け、特色ある活動や実績を広く発信する募集活動を展開する。 ○本校の明確なイメージをビジュアル化するとともにブランド構築を実施させる。	○報道機関への報道依頼、若い目投稿の取り組み ○ウェブページ・SNSや学校案内等の印刷物とデジタルツールを活用した広報活動の展開	○若い目掲載件数10件を目指す。各行事の報道件数の向上 ○県内全中学生に学校案内の配布 ○Instagramフォロワー数6000を達成する。	○全職員への広報活動に対する協力依頼 ○効果的なウェブページの構成やイメージ発信のためのビジュアル構築の研究と実践	B	○広報活動についての情報を全職員と共有し、募集への意識を高め、学校全体での広報活動を実践する。 ○HPと学校案内等、デザインの統一とイメージの定着	○広報に関する取組や状況について定期的な情報提供を行う。また、各科・コース独自の活動を広報の立場から支援する。 ○ウェブページのリニューアル。更なるブランドイメージの定着
特別支援教育部	学習意欲を高め、社会生活及び職業生活に関する基礎学力の向上に努める。	○学習目標や学習過程の明確化と体験的学習の展開 ○ワープロ検定、漢字検定への取り組み	○学習目標の板書及び学習過程の工夫95%以上 ○ワープロ検定4級以上、漢字検定5級以上を目指す取り組み	○学習目標の板書 ○教材教具の活用 ○個別指導の徹底 ○進路達成につながる学習内容の選定	A	○社会生活の基礎となる学力の定着を図った。また、ワープロ検定等の資格取得を推進し、自信をつけさせるようにした。 ○新型コロナウイルス対策のもと夏季・冬季実習が実施できた。4者面談は実施しているのでも来年度へはつながると思われる。 ○かごしま国体7種目競技9名が全員メダルを獲得した。	○生徒の学力の実態を正確に把握し、できるだけ個々に応じた指導を継続する。 ○職業訓練の学習や現場実習の更なる充実を図る。 ○カリキュラムの改善や指導内容・方法に関する共通理解を図り、統一した方針のもとで職業教育を展開していく(専攻科カリキュラムの改善)。
	身近生活を適切に処理しようとする生活態度の育成に努める。	○正しい身なり、持ち物、机の中やロッカーなどの整理整頓の習慣化 ○返事・あいさつの徹底	○共生コース1年生は75%以上 ○その他の学年は85%以上	○SHRでの具体的な指導と点検 ○係活動の充実 ○即時指導の徹底 ○SHRでの唱和	B	○SNS等の生徒指導上の問題行動の発生を抑制できた。校則についての指導を徹底させる。 ○集団行動等の基礎的知識・技能・態度の育成は、全教育活動を通じて行ってきた。	○家庭科の学習や保護者の協力を得て、正しい服装や身だしなみに関する意識を高めさせる。 ○評価項目や評価基準を設定するなどして、知識・技能・態度の育成の達成度を分析的に把握し、課題を明確にしていくようにする。